

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 23 年 4 月 7 日 (2011.4.7)

【公開番号】特開 2009-195387 (P2009-195387A)
 【公開日】平成 21 年 9 月 3 日 (2009.9.3)
 【年通号数】公開・登録公報 2009-035
 【出願番号】特願 2008-38806 (P2008-38806)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/1455 (2006.01)

G 0 1 N 21/01 (2006.01)

G 0 1 N 21/17 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/14 3 2 2

G 0 1 N 21/01 A

G 0 1 N 21/17 6 2 5

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 2 月 17 日 (2011.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の面と、上記第 1 の面に対向する第 2 の面とを有し、内部で光を散乱させる板状の主散乱体、

上記第 1 の面から上記主散乱体に光を入射する複数の照射プローブと、上記第 1 の面から出射された光を検出する複数の検出プローブとを上記主散乱体の上記第 1 の面側に保持する検査用ホルダ、

上記主散乱体の上記第 2 の面側に配置され、かつ上記第 2 の面に沿って移動可能であり、上記第 2 の面から出射された光の一部を吸収する光吸収体、及び

上記光吸収体を支持し、上記第 2 の面の範囲内の予め設定された軌道に沿って所定の速度で上記光吸収体を移動させる駆動装置

を備えていることを特徴とする生体光計測装置の検査用ファントム装置。

【請求項 2】

上記第 2 の面に対向し、上記第 2 の面から出射された光を内部で散乱させる補助散乱体をさらに備え、

上記光吸収体は、上記主散乱体と上記補助散乱体との間に配置されていることを特徴とする請求項 1 記載の生体光計測装置の検査用ファントム装置。

【請求項 3】

上記第 2 の面に対向し、上記第 2 の面から出射された光を反射する光反射体をさらに備え、

上記光吸収体は、上記光反射体に付着されており、上記光反射体とともに上記駆動装置により移動されることを特徴とする請求項 1 記載の生体光計測装置の検査用ファントム装置。

【請求項 4】

上記第 2 の面に対向し、上記第 2 の面から出射された光を反射する光反射体をさらに備え、

上記光吸収体は、上記主散乱体と上記光反射体との間に配置されていることを特徴とする請求項 1 記載の生体光計測装置の検査用ファントム装置。

【請求項 5】

複数の半導体レーザを有する光源部と、

前記複数の半導体レーザに対して直流バイアス電流を印加するとともに、前記複数の半導体レーザから放射される光に参照信号を与えて前記複数の半導体レーザを駆動するレーザ駆動部と、

前記光源部によって発生された光を被検体に照射し、該被検体を透過した光を検出して検出信号を出力する検出部と、

前記参照信号により前記検出信号の抽出を行うデータ処理部と、

前記検出信号から前記被検体の血液中のヘモグロビン濃度の変化量を計算する制御部と

、
前記ヘモグロビン濃度の変化量を表示する表示部と、

を備えた生体光計測装置であって、

前記生体光計測装置の検査を行うための検査用ファントム装置は、請求項 1 乃至 4 の何れか一項に記載の検査用ファントム装置であることを特徴とする生体光計測装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】生体光計測装置、生体光計測装置の検査用ファントム装置